

施設評価シート（小学校）

102

（平成20年度事業）

施設名	備前市立東鶴山小学校	問合先	担当課(室)	教育総務課
			職・氏名	課長代理・坪本弘毅
			電話	0869-64-1802
所在地	備前市佐山2721番地		所属長職・氏名	課長・山本健次

根拠法令等	名称	学校教育法第1条、2条、20条、45条ほか		
総合計画上の位置付け	基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり	基本施策	01 未来を支える人材を育むまちづくり
	施策	02 小・中学校	事務事業名	01 小学校管理運営事業

対象	（この施設運営によりサービスを受けるのは誰か？）		
	市立小学校児童		
目的・意図する成果	（この施設運営によってどのような状態を目指しているのか？）		
	小学校において、地域や学校の実態、生徒の発達段階や特性を生かすよう考慮して編成した教育課程を達成できるよう管理運営を行います。		
施設内容 規模 建設年月	施設内容	規 模	建設年月
	校舎 1,997㎡	鉄筋コンクリート造2階建 1,912㎡	昭和45年3月
	普通教室 6室 393㎡	鉄骨造 85㎡	昭和49年3月
	特別教室 7室 652㎡		
	屋内運動場 805㎡	鉄骨造 805㎡	平成3年2月
管理運営方法	<input type="radio"/> 一部委託 <input checked="" type="radio"/> すべて直営		
	（一部委託の内容）		

経費	年度	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	単位
	維持補修費		2,327	2,389	2,612
物件費		3,204	2,935	3,077	千円
補助費		0	0	0	
その他経費		2,720	2,790	2,764	千円
合 計		8,251	8,114	8,453	千円
財源	保育料・使用料・授業料・給食費等	81	61	2,890	千円
	一般財源	8,170	8,053	5,563	千円
園児・児童・生徒数		80	71	52	人
1人当たりコスト（一般財源）		102,125	113,423	106,981	円

参考	人件費 (市費のみ)	正規職員	1.0 人	5,000	0.0 人	0	0.0 人	0	人/千円	
		臨時職員	常勤	0.0 人	0	1.0 人	2,562	1.0 人	2,607	人/千円
			非常勤	0.0 人	0	0.0 人	0	0.0 人	0	人/千円

園児・児童・生徒数の推移	(単位:人)									
	年度	H18	H19	H20	H21	H22(見込)	H23(見込)	H24(見込)	H25(見込)	H26(見込)
	(1年)	10	11	4	9	6	13	13	7	7
	(2年)	7	9	11	4	9	6	13	13	7
	(3年)	11	7	8	11	4	9	6	13	13
	(4年)	13	11	5	8	11	4	9	6	13
	(5年)	20	13	10	5	8	11	4	9	6
	(6年)	19	20	14	10	5	8	11	4	9
	計	80	71	52	47	43	51	56	52	55

平成21年度状況及び管理運営の改善案	児童数は横ばいか、増加する傾向である。施設は老朽化しており、日常点検の励行など、引き続き節減努力をしている。
--------------------	--

施設修繕・大規模改修費用（今後5年間：平成22年度から平成26年度）					
毎年経常的に必要な修繕費	内 容	金額(千円)	今後5年間に必要となる大規模改修費	内 容	金額(千円)
				校舎コンクリート爆裂改修	1,174
				フェンス扉新設	461
				便所改修	5,000
		600		施設・設備・機器等修繕料	51,477

総合コメント	児童数は、横ばいか、やや増加傾向となっている。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により年度間のばらつきもあるが、一定の効果は上がってきている。今後も光熱水費使用量の管理、正規職員の退職不補充・臨時職員の切替など、経費削減の努力を継続していく必要がある。児童数は横ばいか、増加傾向にあるが、将来の市内小学校のあるべき姿について、学校教育や地域における役割、財政面など、全体的見地立って多方面から検討する必要がある。
--------	--